

令和 8 年度狛江市市民福祉推進委員会
第 2 回高齢小委員会・第 2 回医療と介護の連携推進小委員会（合同） アジェンダ

◇開催日時・場所

令和 8 年 6 月 12 日（金）

合同会議 午後 6 時 30 分から午後 7 時 5 分まで

高齢小委員会 午後 7 時 10 分から午後 7 時 35 分まで

ハイブリッド形式で開催（会場：防災センター 4 階会議室）

◇構成員

（高齢小委員会）中村美安子委員長、南谷吉輝委員、末田千恵委員、谷田部茂委員、長谷川泰委員、石黒昌和委員、市川裕太委員、前田恭輔委員、藤本敦子委員

（医療と介護の連携推進小委員会）吉川哲矢委員長、仙石鍊平委員、松浦秀憲委員、大橋晃太委員、大井剛委員、萩谷奈津子委員、石渡典子委員、橋本朱実委員、森玲子委員、田口千恵委員、谷川加絵委員
（事務局）福祉政策課福祉政策係、高齢障がい課高齢者支援係

◇目的

（共通）

- ・高齢者保健福祉計画の内容を審議する。
- ・次回の会議予定について確認する。

（高齢小委員会単独）

- ・狛江市第 1 次地域共生社会推進基本計画 実施計画による進捗状況評価令和 7 年度報告書（案）を確定させる。

◇議題内容・進行予定

区分	議題	項目	ポイント・成果	手法・資料	割当時間
共通	1	審議 高齢者保健福祉計画の改定（案）について	高齢者保健福祉計画の内容を審議する。	【資料 1】 P. 3	30 分
	2	その他	次回の会議について確認する。	【資料 2】 P. 5	5 分
（医療と介護の連携推進小委員会は退出し、高齢小委員会はそのまま残る。）					5 分

高齢	3	報告 介護保険推進市民協議会の評価結果について	介護保険推進市民協議会から示された審議結果について報告する。	【資料3】 P. 6～10	5分
	4	審議 実施計画の進捗状況の地域共生社会推進会議における評価結果に対する評価について	狛江市第1次地域共生社会推進基本計画 実施計画による進捗状況評価令和7年度報告書（案）を確定させる。	【資料4－1】 【資料4－2】 P. 11～23	20分

◇資料一覧

（共通）

【アジェンダ】第2回高齢小委員会・第2回医療と介護の連携推進小委員会（合同）

【資料1】高齢者保健福祉計画の改定（案） P. 3

【資料2】令和8年度高齢小委員会全体工程表 P. 5

（高齢小委員会）

【資料3】令和8年度第1回狛江市介護保険推進市民協議会審議結果の報告について P. 6～10

【資料4－1】狛江市第1次地域共生社会推進基本計画実施計画（狛江市市民福祉推進委員会による進捗状況評価） P. 11～20

【資料4－2】委員会等の意見の次期実施計画への反映について P. 21～23

（参考資料）

狛江市の人口推計・高齢者人口推計 P. 4

高齢者保健福祉計画の改定（案）

施策 No.	施策	
4-6	社会情勢の変化に合わせた高齢者の生活支援サービスの充実を図ります。	
視点		重点取組
③一人ひとりに寄り添う支援 ④つながりの創出		・ 社会状況の変化に合わせた事業の再構築 ・ 個々のニーズに対応した<u>切れ目のない</u>生活支援体制整備 ・ 高齢者のデジタルデバйд解消に向けた支援

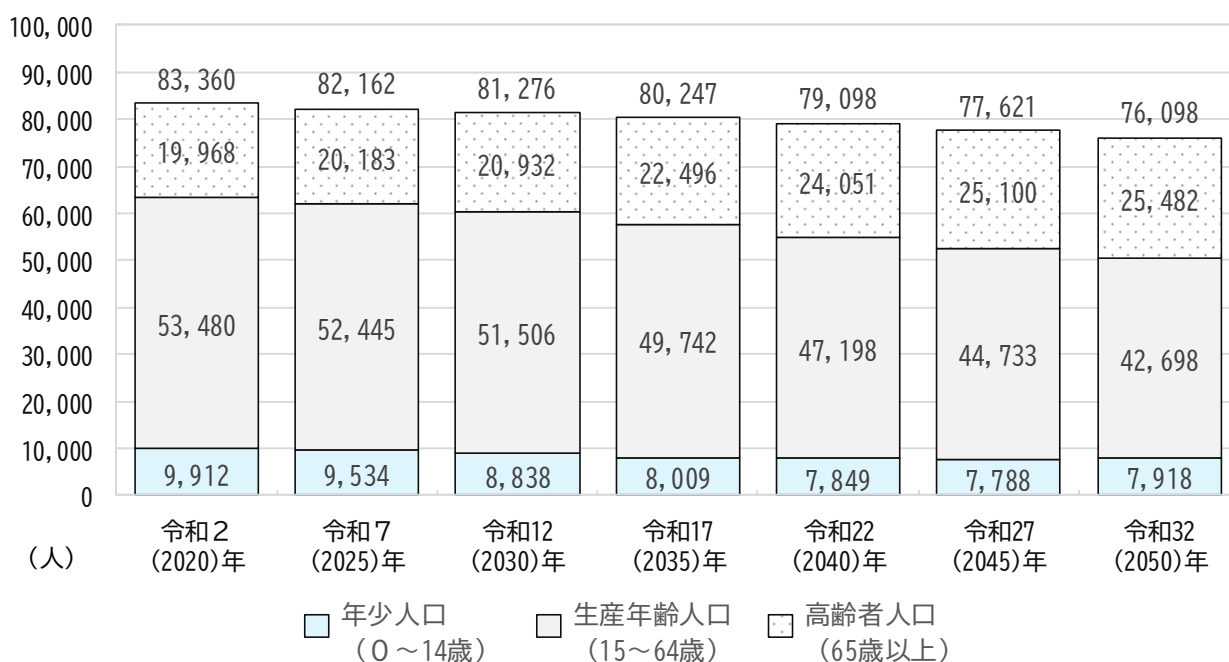
【見直し理由】

・厚生労働省の介護保険部会（令和8年3月9日、第134回）で示されている基本指針の「地域包括ケアシステムの深化」において、②頼れる身寄りがいない高齢者等の生活ニーズを地域課題として解決するため、関係者を含めて地域全体で対応を協議し、切れ目のない支援が提供される地域づくりを推進することと言及されている。

狛江市の人口推計及び高齢者人口推計

(狛江市第1次地域共生社会推進基本計画(令和6年3月作成)より)

狛江市の人口推計

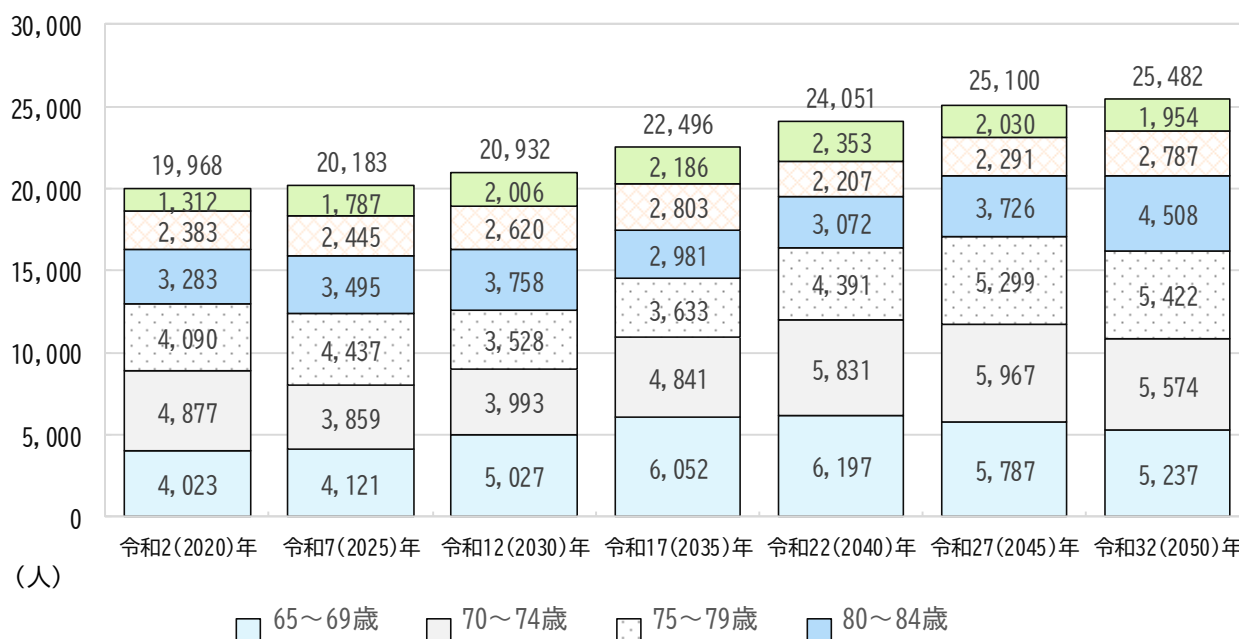


※狛江市の独自推計

※令和2 (2020) 年は実績値、令和7 (2025) 年以降は推計値

※各年 10 月 1 日

狛江市の高齢者人口推計



※狛江市の独自推計

※令和2 (2020) 年は実績値、令和7 (2025) 年以降は推計値

※各年 10 月 1 日

令和8年度 高齢小委員会 全体工程表

回数	開催日時	開催方法	開催時間	開催場所	内容
第1回	5月18日（月）	原則 会場参加	午後6時30分～	防災センター 4階会議室	・高齢小委員会・医療と介護の連携推進小委員会の所掌・会議の公開等について確認する。 ・市民意識調査報告書（案）～クロス集計結果～について報告する。 ・高齢者保健福祉計画の策定範囲について審議する。 ・地域共生社会推進基本計画実施計画の地域共生社会推進会議における令和7年度評価結果に対する評価について審議する。
第2回	6月12日（金）	原則 会場参加	午後6時30分～	防災センター 4階会議室	・狛江市第1次地域共生社会推進基本計画 実施計画による進捗状況評価令和7年度報告書（案）を確定させる。 ・高齢者保健福祉計画の内容を審議する。
第3回	10月5日（月） ※予備 11月10日（火）	原則 会場参加	午後6時30分～	防災センター 4階会議室	・新委員長及び新副委員長の選任 ・狛江市第1次地域共生社会推進基本計画 実施計画 進捗状況評価令和7年度報告書の作成について報告する。 ・令和8年度実施計画について報告する。 ・高齢者保健福祉計画（中間答申案）について審議する。
第4回	2月1日（月） ※予備 2月9日（火） 防災3階会議室	原則 会場参加	午後6時30分～	防災センター 4階会議室	・高齢者保健福祉計画（最終答申案）について審議する。

※予備会を開催する可能性がございます。開催が決まった際は改めてご連絡いたします。

※会議の内容については調整の上、変更の可能性がございますのでご了承ください。

令和 8 年 6 月 10 日

狛江市市民福祉推進委員会

高齢小委員会委員長 中村 美安子 様

狛江市介護保険推進市民協議会

会長 中村 美安子

令和 8 年度第 1 回狛江市介護保険推進市民協議会における審議結果の報告について

狛江市第 1 次地域共生社会推進基本計画における令和 7 年度の介護保険計画に係る施策の評価について、令和 8 年 5 月 21 日に開催しました令和 8 年度第 1 回狛江市介護保険推進市民協議会で審議した結果、別紙のとおりといたしましたのでご報告いたします。

狛江市第1次地域共生社会推進基本計画実施計画（狛江市介護保険推進市民協議会による進捗状況評価）

年度		令和7（2025）																				
(A) 基本目標		(B) 施策		(C) 重点取組及び事業（取組）内容			(D) -1 主な重点取組に対する狛江市地域共生社会推進会議における評価		(D) -2 主な重点取組に対する狛江市地域共生社会推進会議における意見		(D) -3 主な重点取組に対する狛江市地域共生社会推進会議からの意見について担当課からの回答		(E) 狛江市地域共生社会推進会議における評価に 対する 市民福祉推進委員会等からの評価及び 次年度に向けた意見									
目的		手段		手段																		
		目的		重点取組	事業（取組）内容	担当課による進捗状況 評価（当初）																
4	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり	4-8	…狛江市障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画	4-8-1	小規模多機能型居宅介護または看護小規模多機能型居宅介護の整備の検討	B：現状維持	B：現状維持															
					将来コース動向を踏まえた施設整備の必要性を検討																	
				4-9-1	要介護認定の適正化と事務の効率化の推進	B：現状維持																
					審査会部会長及び調査員定例会での共有																	
					調査票点検の実施																	
				4-9-2	認定調査の一部委託からの全面委託化に向けた準備・検討	B：現状維持																
					認定審査会のペーパーレス化の検討																	
				4-9-3	ケアプラン等の点検の実施	A：進捗している																
					ケアプラン点検研修の開催																	
				4-9-3	医療情報との突合・縦覧点検の実施	B：現状維持																
					縦覧点検の実施																	
5	多機関で協働して支援に当たる体制の構築	4-10	…狛江市障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画	4-10-1	介護施設・事業所の指導検査の実施	B：現状維持	B：現状維持															
				4-10-2	施設・事業所の感染症対策の推進	B：現状維持	B：現状維持															
				4-10-3	（再掲）介護人材確保対策の推進	C：あまり進捗していない	C：あまり進捗していない															
		5-6	…狛江市障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画	5-6-1	主任介護支援専門員を対象とした障がい福祉制度の勉強会等の実施	B：現状維持	B：現状維持															
				5-6-2	障がいサービス事業所と介護保険サービス事業所の交流機会の創出	A：進捗している	A：進捗している															
		5-7	…狛江市障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画	5-7-1	各種連絡会の開催	B：現状維持	B：現状維持															
				5-7-2	介護関係者サイト「ケア倶楽部」を通じた情報発信の共有	B：現状維持	B：現状維持															
				5-7-3	国等の介護情報基盤整備に伴う対応	B：現状維持	B：現状維持															
				5-7-4	介護事故情報の共有	B：現状維持	B：現状維持															

評価について

(1) 評価方法

狛江市地域共生社会推進基本計画 実施計画では、狛江市地域共生社会推進基本計画（以下「基本計画」）の事業のうち重点施策の関連事業を評価しています。

この関連事業の進捗結果を各事業の担当課がとりまとめ、地域共生社会推進会議にて、【市の実施計画の評価】として評価を行いました。

その後、当評価を市民福祉推進委員会等において評価をし、出された意見をまとめました。

(2) 評価の視点

実施計画の年次目標に記載されている各項目における令和7年度の実施状況を確認したうえで、事業全体を俯瞰した観点から総合的な評価を行いました。評価の結果は、以下のとおりとなります。

評価	評価基準	評価結果（件数）
A	進捗している。（目標（値）に対し80%以上達成）	○
B	現状維持（目標（値）に対し50%以上80%未満達成）	○
C	あまり進捗していない。（目標（値）に対し50%未満達成）	○
D	全く進捗していない。	○

(3) 総評

A評価が○件、B評価が○件、C評価が○件、D評価が○件として、地域共生社会の実現に資する取組が進められました。

(4) 委員会等における実施計画の評価結果に対する評価及び意見等

市民福祉推進委員会等において、市が行った実施計画の評価結果を各（ア）のとおりに評価しました。なお、②③と評価したものについての意見等は各（イ）のとおりで。

(介護保険推進市民協議会)

(ア) 市の実施計画の評価結果の評価

①推進会議の評価のとおりとする	4-9-1、4-9-2、4-9-3、4-10-1、 4-10-2、5-6-1、5-7-1、5-7-2、 5-7-3、5-7-4
②推進会議の評価のとおりとする。 (意見についてはイ(イ)のとおり。)	4-8-1、4-10-3、5-6-2
③推進会議の評価と異なる評価とする。(意見についてはイ(イ)のとおり。)	該当なし。

(イ) 市の実施計画の評価結果に対する意見等

No.	取組No.	狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する 委員会等からの意見
1	4-8-1	周知方法の工夫や事業所への様々なサポートを検討する必要がある。
2	4-10-3	利用促進に向けた取組みが必要である。
3	5-6-2	目標とする実施回数が具体的に書いてあると評価しやすいと思います。
4	5-7-1	市は何も関与していないように取れますが、それでよいのですか。
5	5-7-4	次年度の目標は「実施」なので、方針としては検討するではなく、実施する。という文章になるように、内容を検討すべきではないでしょうか。

いただいた御意見への対応案（介護保険推進市民協議会）

	取組No.	重点取組	いただいた御意見	市の対応
1	5-7-1	各種連絡会の開催	市は何も関与していないように取れますが、それでよいのですか。	「令和 8 年度以降の取組や方針」欄を以下のように修正いたします。 （旧）事業者の自主運営により連絡会を開催していく。 （新）事業者が連絡会を開催できるよう、支援をしていく。
2	5-7-4	介護事故情報の共有	次年度の目標は「実施」なので、方針としては検討するではなく、実施する。という文章になるように、内容を検討すべきではないでしょうか。	「令和 8 年度以降の取組や方針」欄を以下のように修正いたします。 （旧）事業者が事故発生予防に取り組める様な情報の内容や発信方法を検討する。 （新）事業者が事故発生予防に取り組める様な情報を発信する。

資料 4－1 狛江市第 1 次地域共生社会推進基本計画実施計画（狛江市市民福祉推進委員会による進捗状況評価）

年度		令和 7（2025）									
(A) 基本目標		(B) 施策		(C) 重点取組及び事業（取組）内容				(D)－1 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議に おける評価	(D)－2 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議における意見	(D)－3 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議からの意見 について担当課からの回答	(E) 狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する 市民福祉推進委員会等からの評価及び 次年度に向けた意見
目的		手段		手段							
		目的									
				重点取組	事業（取組）内容	担当課による進捗状況 評価（当初）					
2	「つながり」を 実感できる 地域づくり	2～2	地域住民、地域関係団体、専門職等 の共助を高める避難行動要支援者支 援体制の充実を図ります。	2-2-1	福祉・医療関係者との連携による、作 成の優先度が高い避難行動要支援者の個別 避難計画の策定・改定の推進	福祉関係者等との連携	A：進捗している	A：進捗している			① 9 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者委員会）
				2-2-2	公開型及び統合型地理情報システム（以 下「統合型GIS」という。）を活用した個 別避難計画の策定・改定の推進	統合型GISを活用した個別避難計画の作 成及び更新	A：進捗している	A：進捗している			① 9 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者委員会）
				2-2-3	統合型GISを活用した避難行動要支援者等 事、個別避難計画の避難支援等関係者へ の情報共有、安否確認・避難支援体制構 築の推進	支援組織との避難支援体制の整備	A：進捗している	A：進捗している			① 9 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者委員会）
2	「つながり」を 実感できる 地域づくり	2～3	地域における要守りや一人暮らし高 齢者の見守りを強化します。	2-3-1	緊急通報装置等の機器を活用した見守り 事業の推進	緊急通報装置事業の見直し 新たな就業者の導入	B：現状維持	B：現状維持			① 8 ② 1 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-3-2	地域住民、事業者等による「ながら見守 り」の実施	地域住民等による「ながら見守り」の実 施 GPS等を活用した早急発見の仕組みづく り	B：現状維持	B：現状維持			① 8 ② 1 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-3-3	認知症基本法の基本理念等を踏まえた取 組の推進	既存事業の整理・継続実施 不足する事業の実施 機会を捉えた普及啓発 当事者からの発信機会	A：進捗している	A：進捗している			① 8 ② 1 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
2	「つながり」を 実感できる 地域づくり	2～6	認知症の「共生」と「予防」を推進 します。	2-6-1	認知症サポーター養成講座の開催	認知症サポーター養成講座の開催	A：進捗している	A：進捗している			① 7 ② 2 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-6-2	認知症サポーター（キッズリポーター） の養成	（再掲）認知症サポーター養成講座の開 催 キッズリポーター養成講座の拡大	A：進捗している	A：進捗している			① 7 ② 2 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-6-3	チームオレンジの活動支援・新設	認知症サポーターステッピングアップ講座の 実施・再編 ゲームオレンジの新設	B：現状維持	B：現状維持	③「チームオレンジの新設」について、未設置 エリアにてオレンジコーディネーターへ立ち上 げの相談をしながら検討していく必要がある。		① 8 ② 1 「災害会議の開催」と見直しを図ります。「意見については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
3	社会参 加を 進め るシ ステ ム	3～4	高齢者が地域の中で元気に活躍でき る環境整備を推進します。	2-4-5	認知症の特性を踏まえた介護サービスの 提供・確保	地域密着型サービスの整備	B：現状維持	B：現状維持	③「高齢者がいかに 他自治体での就労事業者に着目し個別認知を行 い、事業者等からの問合せや面会相談の 機会があったことで整備に対する具体的な 課題を把握できた。第 9 期計画期間（8～ 8）での施設整備を目指した募集であり、 取組みとしての評価は「B：現状維持」 が適切と考える。		① 6 ② 2 ③ 1 「災害会議の開催」と見直しを図ります。「意見については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-4-6	認知症予防事業の拡充	ヒアリング・フレイル予防・認知症と精神 保健の連携 認知症相談の受付	A：進捗している	A：進捗している			① 9 「災害会議の開催のとおりとする。」（高齢者委員会）
				2-4-7	高齢者が地域で元気に活躍できる環境整 備・事業の充実	元気高齢者向け事業の実施 地域で継続的に参加・活動できる環境整 備	A：進捗している	A：進捗している	③「高齢者が地域で活躍する環境整備の促進につ いて、就労的活動マッチング事業へ参加する団 体を、広げて等々することを検討してはどうかと 考える。		① 7 ② 2 「災害会議の開催」と見直しを図ります。「意見については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
3	社会参 加を 進め るシ ステ ム	3～4	高齢者が地域の中で元気に活躍でき る環境整備を推進します。	2-4-7	高齢者の就労、社会参加、生きがいづく りの支援	（仮称）シニア・プレシニアの社会参加 活動応援イベントの実施 シニアふれあい食堂の実施	B：現状維持	B：現状維持			① 7 ② 2 「災害会議の開催」と見直しを図ります。「意見については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）
				2-4-8	シルバー人材センターの運営支援	シルバー人材センター補助 広電等による活動の周知・開発	B：現状維持	B：現状維持			① 8 ② 1 「災害会議の開催」と見直しを図ります。「意見については「イ」のとおり。） （高齢者委員会）

年度		令和7(2025)									
(A) 基本目標		(B) 施策		(C) 重点取組及び事業（取組）内容				(D) -1 主な重点取組に対する 船江市地域共生社会推進会議に おける評価	(D) -2 主な重点取組に対する 船江市地域共生社会推進会議における意見	(D) -3 主な重点取組に対する 船江市地域共生社会推進会議からの意見 について担当課からの回答	(E) 船江市地域共生社会推進会議における評価に対する 市民福祉推進委員会等からの評価及び 次年度に向けた意見
目的		手段 目的		事業				担当課による進捗状況 評価（当初）			
				重点取組		事業（取組）内容					
4	総合 的 で 切 れ 目 の な い 生 活 支 援 シ ス テ ム づ く り	4-4	多様な福祉人材の確保・育成に向けた 支援体制を充実させます	4-4-3	介護人材確保対策の推進	研修受講費の助成	C：あまり進捗してい ない	C：あまり進捗していない	①ケアマネジャーの高齢化に伴う事業開業や介 護職員の採用難について課題となっており、介 護人材確保のための推進は今後も継続していく 必要がある。		①推進会議の計画のとおりとする。（高齢化委員会）
						新たな助成・支援対策の検討及び実施					
				4-4-6	社会状況の変化に合わせた事業の再構築	老人福祉事業や既存資源等の再構築	A：進捗している	A：進捗している		②推進会議の計画のとおりとする。（高齢化委員会）	
						個々のニーズに対応した生活支援体制整備					既存資源等を活用した複合的な在宅サ ービスの創出
				4-4-3	高齢者のデジタルデバイス活用に向けた 支援	スマホ相談所の定期開催 （週2回）	A：進捗している	A：進捗している		④推進会議の計画のとおりとする。（歳増については「イ」のとおり。） （高齢化委員会）	
						介護予防、フレイル予防の推進					フレイル予防事業の拡充
				4-4-3	介護予防、フレイル予防の推進	地域における運動習慣の定着化に向け た推進取組	A：進捗している	A：進捗している		⑦推進会議の計画のとおりとする。（歳増については「イ」のとおり。） （高齢化委員会）	
						アクティビシニア支援事業の検討及び実 施					シルバーディスコ事業の実施
				4-4-3	保健事業と介護予防の一体的実施	健康セミナー	A：進捗している	A：進捗している		⑨推進会議の計画のとおりとする。（歳増については「イ」のとおり。） （高齢化委員会）	
						対策ニーズ動向を踏まえた施設整備の必 要性を検討					付帯ニーズ動向を踏まえた施設整備の必 要性を検討
4	総合 的 で 切 れ 目 の な い 生 活 支 援 シ ス テ ム づ く り	4-9	介護サービスの給付の適正化を推進 します。	4-9-1	要介護認定の適正化と事務の効率化の推 進	審査会審査員会及び審査員見習会での実 施	B：現状維持	B：現状維持			
						調査票点検の実施					
				4-9-2	ケアプラン等の点検の実施	ケアプラン点検の実施	A：進捗している	A：進捗している			
						ケアプラン点検研修の開催					医療情報との安全点検の実施
				4-9-3	医療情報との安全・縦断点検の実施	縦断点検の実施	B：現状維持	B：現状維持			
						縦断点検の実施					適正な指導検査を実施するための部への職 員研修派遣
				4-10-1	介護施設・事業所の指導検査の実施	指導検査の実施	B：現状維持	B：現状維持			
						指導検査の実施					事業者支援のための感染対策の推進取 組等の支援
				4-10-2	施設・事業所の感染症対策の推進	(再掲) 研修受講費の助成	C：あまり進捗してい ない	C：あまり進捗していない			
						(再掲) 新たな助成・支援対策の検討及 び実施					(再掲) 新たな助成・支援対策の検討及 び実施
介護保険推進市民協議会へ意見聴取											

介護保険推進市民協議会へ意見聴取

年度		令和7(2025)														
(A) 基本目標		(B) 施策		(C) 重点取組及び事業（取組）内容				(D) -1 主な重点取組に対する 鶴江市地域共生社会推進会議に おける評価	(D) -2 主な重点取組に対する 鶴江市地域共生社会推進会議における意見	(D) -3 主な重点取組に対する 鶴江市地域共生社会推進会議からの意見 について担当課からの回答	(E) 鶴江市地域共生社会推進会議における評価に対する 市民福祉推進委員会等からの評価及び 次年度に向けた意見					
目的		手段		事業												
		目的		重点取組		事業（取組）内容		担当課による進捗状況 評価（当初）								
5	多 機 関 で 協 働 し て 支 援 に 当 た る 体 制 の	5-5	介護サービスと医療の連携・協力体制を推進します。	5-5-1	医療と介護の連携事業の継続実施	多職種連携研修会の開催	A：進捗している	A：進捗している			介護保険推進市民協議会へ意見聴取					
			年齢にかかわらず、サービスを適切に受けられるよう、介護保険サービスと障がい者福祉サービスの連携を推進します。	5-5-1	主任介護支援専門員を対象とした障がい福祉制度の勉強会等の実施	主任介護支援専門員で構成する連絡会での研修を実施	B：現状維持									
		5-6		5-6-2	障がいサービス事業所と介護保険サービス事業所の交流機会の創出	障がいサービス事業所と介護保険サービス事業所の交流機会の検討	A：進捗している									
				5-7-1	各介護連絡会の開催	各サービス事業者との交流機会の検討	B：現状維持									
		5-7		5-7-2	介護関係者サイト「ケア倶楽部」を通じて介護関係情報の共有	ケア倶楽部を通じて情報発信の一元化に向けた検討	B：現状維持									
			介護保険サービスの質の向上を目的として事業者間の連携を強化します。	5-7-3	国等の介護情報基盤整備に伴う対応	電子申請届出システムによる届出の統一化	B：現状維持									
				5-7-4	介護事故情報の共有	事故報告情報の共有	B：現状維持									

(イ) 市の実施計画の評価結果に対する意見等

選択 高齢小委員会

基本目標 1：一人ひとりの状況に合わせた切れ目のない相談支援体制の構築

No.	施策	狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する	
		委員会等からの評価	委員会等からの意見
	例) 1-1-1		〇〇〇
1	高齢小委員会の該当施策なし		
2			
3			

基本目標 2：「つながり」を実感できる地域づくり

No.	施策	狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する	
		委員会等からの評価	委員会等からの意見
1	2-5-1	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	課題に高齢者のニーズ把握と要件緩和の必要性があげられているが令和8年度取り組みでは触れられていない。課題を取り組みに反映すべき。
2	2-5-2	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	事業概要には地域住民による「ながら見守り」の実施が示されているが評価理由にも、課題には事業所の取り組みの記載となっている。住民による取り組み推進についてもなんらかの記載をすべき。
3	2-6-1	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	課題に記載がある「事業調整」とは具体的にどのようなことが不明なので示してほしい。
4	2-6-2	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	評価に具体的参加数や回数を記入し、それをふまえて次年度の方針に回数など数字を入れる。
5	2-6-3	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	課題に「小中学校の児童生徒を幅広く取り込むことが必要」とあるが、現在学年などに偏りがあるということなのかどう いうことが一読ではわからない。具体的に課題を記載すべき。
6			サポーターを養成することが目的達成のために必要なことであり、開催数だけでなく、養成者人数を記載する必要がある と思われます。
7	2-6-4	③推進会議の評価と異なる評価とする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	立ち上げを目標としたができなかったのであれば「C」ではないか。
8	2-6-5	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	4-8-1と整合性が取れるように。市としてできるサポートの検討。
9			看護小規模多機能が応募に至らなかった理由をもう少し詳しく記載し、今後も参入の可能性あるかどうか検討を行 う必要があると思います。また、他のサービスでも認知症の方の共生社会を実現する可能性もあると思われるため、一 つのサービスに限定せず、幅を広げると参入しやすくなるかと思っています。
10		③推進会議の評価と異なる評価とする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	2回公募したが整備に至らずは努力とは別だが「C」ではないか？また、8年度の方針が課題を受けておらず、かつ解説 的な内容となっているので改善されたい。

基本目標 3：社会参加を進めるシステムづくり

No.	施策	狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する	
		委員会等からの評価	委員会等からの意見
1	3-4-2	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	評価理由、課題、方針がつながっていない。例えば「新たな運営団体の開拓が必要」という課題が方針に反映されていない等。改善してほしい。
2			次年度の目標は？
3	3-4-3	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	評価理由、課題、方針がつながっていない。課題にある「継続的に促進する方法が必要」を方針に反映すべき。

基本目標 4：総合的で切れ目のない生活支援システムづくり

No.	施策	狛江市地域共生社会推進会議における評価に対する	
		委員会等からの評価	委員会等からの意見
1	4-6-2	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	8年度の方針に「長期的な検討を行う」とあるが、ここは長期的検討において、8年度何をするかなので記述不十分だと思います。
2	4-6-3	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	介護保険利用者もこの問題に悩む方も多いと思われます。認知機能の低下により1人で行くことが難しい、聞いても理解が難しい方もいらっしゃるため、デイサービスなどに出張スマホ相談などを検討できないでしょうか。
3	4-7-1	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	評価がわかりやすい、次年度はどのくらい拡大するのか？
4	4-7-2	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	本格実施の目標回数は？
5	4-7-3	②推進会議の評価のとおりとする。 (意見については(イ)のとおり。) (高齢小委員会)	このような書き方だと評価の根拠がわかりやすいので全体的に頻度、参加者数、回数を含めて評価に記入し、それをふまえて次年度の方針にも数字で示すと評価しやすいと思う。

基本目標 5：多機関で協働して支援に当たる体制の構築

No.	取組No.		委員会等からの意見
1		高齢小委員会からの御意見なし	
2			

いただいた御意見への対応案（高齢小委員会）

	取組No.	重点取組	いただいた御意見（抜粋）	市の対応
1	2-6-1	認知症基本法の基本理念等を踏まえた取組の推進	課題に記載がある「事業調整」とは具体的にどのようなことか不明なので示してほしい。	「課題等」欄を以下のように修正いたします。 （旧）国及び都の「認知症施策推進基本計画」に基づき、事業調整を行う必要がある。 （新）国及び都の「認知症施策推進基本計画」に基づき、チームオレンジコーディネート事業の充実を図る等、事業調整を行う必要がある。
2	2-6-5	認知症の特性を踏まえた介護サービスの提供・確保	8年度の方針が課題を受けておらず、かつ解説的な内容となっているので改善されたい。	「令和8年度以降の取組や方針」欄を以下のように修正いたします。 （旧）認知症に特化した地域密着型サービスは、令和6年4月に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を開設したことも踏まえ、引き続き、看護小規模多機能型居宅介護の公募を実施する方針となった。このサービスは、通い、泊まり、訪問介護、訪問看護を利用者の状態や必要に応じ柔軟に提供するサービスとなっている。 （新）認知症に特化した地域密着型サービスは、令和6年4月に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を開設したことも踏まえ、引き続き、効果的な周知方法を検討しながら、看護小規模多機能型居宅介護の公募を実施していく。
3	3-4-2	高齢者の就労、社会参加、生きがいの支援	・評価理由、課題、方針が繋がっていない。例えば「新たな運営団体の開拓が必要」という課題が方針に反映されていない等。改善してほしい。 ・次年度の目標は？	「令和8年度以降の取組や方針」欄を以下のように修正いたします。 （旧）引き続き、高齢者の就労、社会参加、生きがいの支援として、「高齢者就労的活動マッチング事業」及び「シニアふれあい食堂」を実施する。 （新）引き続き、高齢者の就労、社会参加、生きがいの支援として、「高齢者就労的活動マッチング事業」及び「シニアふれあい食堂」を実施する。また、「シニアふれあい食堂」については、新たな運営団体等を開拓する。
4	3-4-3	シルバー人材センターの運営支援	評価理由、課題、方針が繋がっていない。課題にある「継続的に促進する方法が必要」を方針に反映すべき。	「令和8年度以降の取組や方針」欄を以下のように修正いたします。 （旧）引き続き、シルバー人材センターへの補助を行うとともに、広報等による活動の周知・啓発を行う。 （新）引き続き、シルバー人材センターへの補助を行うとともに、広報等による活動の周知・啓発を行う。また、高齢者が地域の中で元気に活躍できる環境整備を継続的に促進する方法を模索する。

狛江市第1次地域共生社会推進基本計画実施計画に関する
市民福祉推進委員会、高齢小委員会、障がい小委員会及び権利擁護小委員会による
進捗状況評価
令和7年度 報告書（案）

令和8年〇月

2 評価について

(1) 評価方法

狛江市地域共生社会推進基本計画 実施計画では、狛江市地域共生社会推進基本計画（以下「基本計画」）の事業のうち重点施策の関連事業を評価しています。

この関連事業の進捗結果を各事業の担当課がとりまとめ、地域共生社会推進会議にて、【市の実施計画の評価】として評価を行いました。

その後、当評価を市民福祉推進委員会等において評価をし、出された意見をまとめました。

(2) 評価の視点

実施計画の年次目標に記載されている各項目における令和7年度の実施状況を確認したうえで、事業全体を俯瞰した観点から総合的な評価を行いました。評価の結果は、以下のとおりとなります。

評価	評価基準	評価結果（件数）
A	進捗している。（目標（値）に対し80%以上達成）	○
B	現状維持（目標（値）に対し50%以上80%未満達成）	○
C	あまり進捗していない。（目標（値）に対し50%未満達成）	○
D	全く進捗していない。	○

(3) 総評

A評価が○件、B評価が○件、C評価が○件、D評価が○件として、地域共生社会の実現に資する取組が進められました。

(4) 委員会等における実施計画の評価結果に対する評価及び意見等

市民福祉推進委員会等において、市が行った実施計画の評価結果を各(ア)のとおり評価しました。なお、②③と評価したものについての意見等は各(イ)のとおりです。

イ 高齢小委員会

(ア) 市の実施計画の評価結果の評価

①推進会議の評価のとおりとする	2-2-1、2-2-2、2-2-3、 2-6-1 、2-6-6、3-4-1、 3-4-2 、 3-4-3 、4-4-3、4-6-1、5-5-1
②推進会議の評価のとおりとする。 (意見についてはイ(イ)のとおり。)	2-5-1、2-5-2、2-6-2、2-6-3、2-6-5、4-6-2、4-6-3、4-7-1、4-7-2、4-7-3
③推進会議の評価と異なる評価とする。(意見についてはイ(イ)のとおり。)	2-6-4

(イ) 市の実施計画の評価結果に対する意見等

No.	取組No.	粕江市地域共生社会推進会議における評価に対する 委員会等からの意見
1	2-5-1	課題に高齢者のニーズ把握と要件緩和の必要性があげられているが令和8年度取り組みでは触れられていない。課題を取り組みに反映すべき。
2	2-5-2	事業概要には地域住民による「ながら見守り」の実施が示されているが評価理由にも、課題には事業所の取り組みの記載となっている。住民による取り組み推進についてもなんらかの記載をすべき。
3	2-6-1	課題に記載がある「事業調整」とは具体的にどのようなことが不明なので示してほしい。
4	2-6-2	評価に具体的参加数や回数を記入し、それをふまえて次年度の方針に回数など数字を入れる。

5	2-6-3	課題に「小中学校の児童生徒を幅広く取り込むことが必要」とあるが、現在学年などに偏りがあるということなのかどうか一読ではわからない。具体的に課題を記載すべき。
6		サポーターを養成することが目的達成のために必要なことであり、開催数だけでなく、養成者人数を記載する必要があると思われます。
7	2-6-4	立ち上げを目標としたができなかったのであれば「C」ではないか。
8	2-6-5	4-8-1と整合性が取れるように。市としてできるサポートの検討。
9		看護小規模多機能が応募に至らなかった理由をもう少し詳しく記載し、今後も参入の可能性があるかどうか検討を行う必要があると思います。また、他のサービスでも認知症の方の共生社会を実現する可能性もあると思われるため、一つのサービスに限定せず、幅を広げると参入しやすくなるかと思えます。
10		2回公募したが整備に至らずは努力とは別だが「C」ではないか？ また、8年度の方針が課題を受けておらず、かつ解説的な内容となっているので改善されたい。
11	3-4-2	評価理由、課題、方針が繋がっていない。例えば「新たな運営団体の開拓が必要」という課題が方針に反映されていない等。改善してほしい。
12		次年度の目標は？
13	3-4-3	評価理由、課題、方針が繋がっていない。課題にある「継続的に促進する方法が必要」を方針に反映すべき。
14	4-6-2	8年度の方針に「長期的な検討を行う」とあるが、ここは長期的検討において、8年度何をできるかなので記述不十分だと思います。
15	4-6-3	介護保険利用者もこの問題に悩む方も多と思われます。認知機能の低下により1人で行くことが難しい、聞いても理解が難しい方もいらっしゃるため、デイサービスなどに出張スマホ相談などを検討できないでしょうか。
16	4-7-1	評価がわかりやすい、次年度はどのくらい拡大するのか？
17	4-7-2	本格実施の目標回数は？
18	4-7-3	このような書き方だと評価の根拠がわかりやすいので全体的に頻度、参加者数、回数を含めて評価に記入し、それをふまえて次年度の方針にも数字で示すと評価もしやすいと思う。

委員会等の意見の次期実施計画への反映について

狛江市第1次地域共生社会推進基本計画 実施計画(令和8年版)(以下「次期実施計画」と言います。)の策定にあたり、地域共生社会推進会議及び全ての委員会・小委員会(以下「委員会等」と言います。)からの評価結果の評価が終わった段階で、次ページ以降のように、各担当課において委員会等からの意見のとりまとめ結果を参考にして、次期実施計画の作成を行います。

1. 担当課評価結果

取組No.	1-1-1	重点取組	福祉のつなぐシート登録システムの民間事業者等への拡大の推進												
担当課	福祉政策課		大施策	包括的な支援に関すること			構成計画	地	●	後		高		障	
区分	拡充														
①事業概要															
福祉のつなぐシート登録システムを活用してつなぎの重層化を図ることにより、一人ひとりの状況に合わせた切れ目のない相談支援体制を構築します。 切れ目のない相談支援体制を構築するため、福祉のつなぐシート登録システムの利用者を庁内窓口のみならず、庁外の民間事業者にまで広く拡大します。															
②施策に関する具体的な事業や取組															
事業（取組）内容		成果(活動)指標		R 7	R 8	R 9									
福祉のつなぐシート登録システムの活用民間事業者等の拡大 担当課：福祉政策課		市内登録事業者数（累積）	③目標(値)	25事業者以上	30事業者以上	35事業者以上									
			④実績(値)	69事業者											
			⑤進捗状況評価	A：進捗している											
「評価」の理由		学童保育所支援員会議や郵便局長会議等、数多くの関係者が集まる会議体を通じて「福祉のつなぐシート」について説明をし、児童福祉施設や金融機関等へ導入いただけたことから、目標値を44事業者上回る福祉のつなぐシート登録システムの活用民間事業者等（以下、「市内登録事業者」という。）を確保できた（69事業者（前年度比+41事業者）のうち、新規は41事業者（前年度比+24事業者））。また、9つの「つなぎ」のうち活用民間事業者等から5件の「つなぎ」を実現できたため。													
課題等		活用民間事業者等を増やすことができたが、つながった案件が少なかった。													
令和8年度以降の取組や方針		幅広い市内登録事業者に活用いただけるよう、使用感に対するヒアリングを行い、より利活用しやすいシステム構築を検討する。													

2. 推進会議評価結果及び委員会等からの意見

(D) - 1 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議に おける評価	(D) - 2 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議における 意見	(D) - 3 主な重点取組に対する 狛江市地域共生社会推進会議からの意見に ついて 担当課からの回答	(E) 狛江市地域共生社会推進会議における評 価に対する 市民福祉推進委員会等からの評価及び 次年度に向けた意見
A：進捗している	〇〇〇	△△△	②推進会議の評価のとおりとする。(意見に ついては(イ)のとおり。)(〇〇委員会)



(例)

(イ)市の実施計画の評価結果に対する意見等

No.	取組No.	委員会等からの意見
1	1-1-1	実績（値）ですでに目標（値）を大きく達成しているので、成果指標を登録事業者数ではなく活用案件数にした方がよいのではないか。

3-1. 地域共生社会推進基本計画 実施計画(令和7年9月)

取組No.	1-1-1	重点取組	福祉のつなぐシート登録システムの民間事業者等への拡大の推進											
担当課	福祉政策課		大施策	包括的な支援に関すること			構成計画	地	●	後		高		障
区分	拡充													
①事業概要														
福祉のつなぐシート登録システムを活用してつなぎの重層化を図ることにより、一人ひとりの状況に合わせた切れ目のない相談支援体制を構築します。 切れ目のない相談支援体制を構築するため、福祉のつなぐシート登録システムの利用者を庁内窓口のみならず、庁外の民間事業者にまで広く拡大します。														
②施策に関する具体的な事業や取組														
事業（取組）内容		成果(活動)指標		R 7		R 8		R 9						
福祉のつなぐシート登録システムの活用民間事業者等の拡大 担当課：福祉政策課		市内登録事業者数（累積）	③目標(値)	25事業者以上		30事業者以上		35事業者以上						

(例)



3-2. 地域共生社会推進基本計画 実施計画(令和8年9月)

取組No.	1-1-1	重点取組	福祉のつなぐシート登録システムの民間事業者等への拡大の推進											
担当課	福祉政策課		大施策	包括的な支援に関すること			構成計画	地	●	後		高		障
区分	拡充													
①事業概要														
福祉のつなぐシート登録システムを活用してつなぎの重層化を図ることにより、一人ひとりの状況に合わせた切れ目のない相談支援体制を構築します。 切れ目のない相談支援体制を構築するため、福祉のつなぐシート登録システムの利用者を庁内窓口のみならず、庁外の民間事業者にまで広く拡大します。														
②施策に関する具体的な事業や取組														
事業（取組）内容		成果（活動）指標		R 8			R 9			R 10				
福祉のつなぐシート登録システムの民間事業者等による活用の拡大 担当課：福祉政策課		登録事業者による活用 案件数	③目標（値）	10件以上			15件以上			20件以上				